日本思想史学会2026年度大会　プログラム

会場　東北大学川内南キャンパス（仙台市青葉区川内27－1）
共催　東北大学大学院文学研究科・国際文化研究科

11 月 14 日（土）大会第 1 日

◆シンポジウム（13：00～16：50）

会場：文科系総合講義棟 2 階　経済学部第 1 講義室

テーマ：「昭和 100 年」から考える日本思想の一世紀」

司会　苅部　直（東京大学）

発表者

西田　彰一（東北大学）

「昭和期国体論と植民地――筧克彦・増田福太郎の思想的展開と戦後への断絶と連続」

萩原　　稔（大東文化大学）

「アジア主義とは何だったのか」

林　　葉子（学習院大学）

「「アジア女性交流史研究」再考――山崎朋子と森崎和江を中心に」

福家　崇洋（京都大学）

「「無産」の昭和史」

コメンテーター

植村　和秀（京都産業大学）

◆総　会（17：00～17：30）

会場：文科系総合講義棟 2 階　経済学部第 1 講義室

◆懇親会（18:00～20:00）

会　場：川内南キャンパス 文科系厚生施設 文系食堂

11 月 15 日（日）第 2 日

◆研究発表・パネルセッション（終日）

会場：中講義棟 2 階　経済学部第 3 講義室・文学部第 1 講義室・文学部第 2 講義室
　　文科系総合講義棟　経済学部第 3 小講義室

＊詳細は本プログラムに掲載している研究発表一覧をご確認ください。

《ご案内》

発表者各位

＊研究発表の配布資料は、発表者ご自身で印刷の上、各自の発表会場へ持参願います。例年 70 部を目安としておりますが、制限はありません。

＊会場備付のパソコンをご使用の方はデータを USB に保存して持参願います。パソコンの動作確認は、事前にお送りしておりますマニュアルに従って行ってください。なお、不具合が生じた場合も発表時間は延長出来ません。予めご了承願います。

大会参加者各位

＊大会参加費等を事前納入されていない日本思想史学会会員の方は、当日払い（大会参加費 2,000 円 懇親会費 6,000 円）となります。事前納入は、会員の皆さまにお送りしている振込用紙（ゆうちょ銀行払込取扱票）をご利用頂き、10 月 29 日（木）までにお済ませください。

＊日本思想史学会の会員でない方も、シンポジウム・懇親会・研究発表・パネルセッションへのご参加が可能です。ご参加を希望される方は、大会当日に、受付で上記当日払いの金額をお支払いください。なお、会員間の議論を最優先するため、シンポジウム・研究発表・パネルセッションでの質問は、会員の方のみに限らせて頂きます。
＊受付、書籍販売、会員控室は文科系総合講義棟 2F です。
＊大会シンポジウム及び研究発表の発表要旨、出張依頼書は、会員専用ページからダウンロードできます。
＊オンラインで公開している発表要旨の紙媒体による配布はございません。
＊インターネット接続について、会場では「eduroam」の利用が可能です。SSID「eduroam」に接続してご使用ください。ご利用手順は所属機関にご確認ください。

《交通アクセス等》

＊最寄駅：仙台市営地下鉄東西線 川内駅（キャンパス直結）
仙台市営地下鉄東西線 国際センター駅（西 1 口より徒歩約 5 分）



東北大学インタラクティブマップでは、施設名やカテゴリでの検索、スマートフォンによる位置情報の取得が可能です。
https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/

《ご注意》

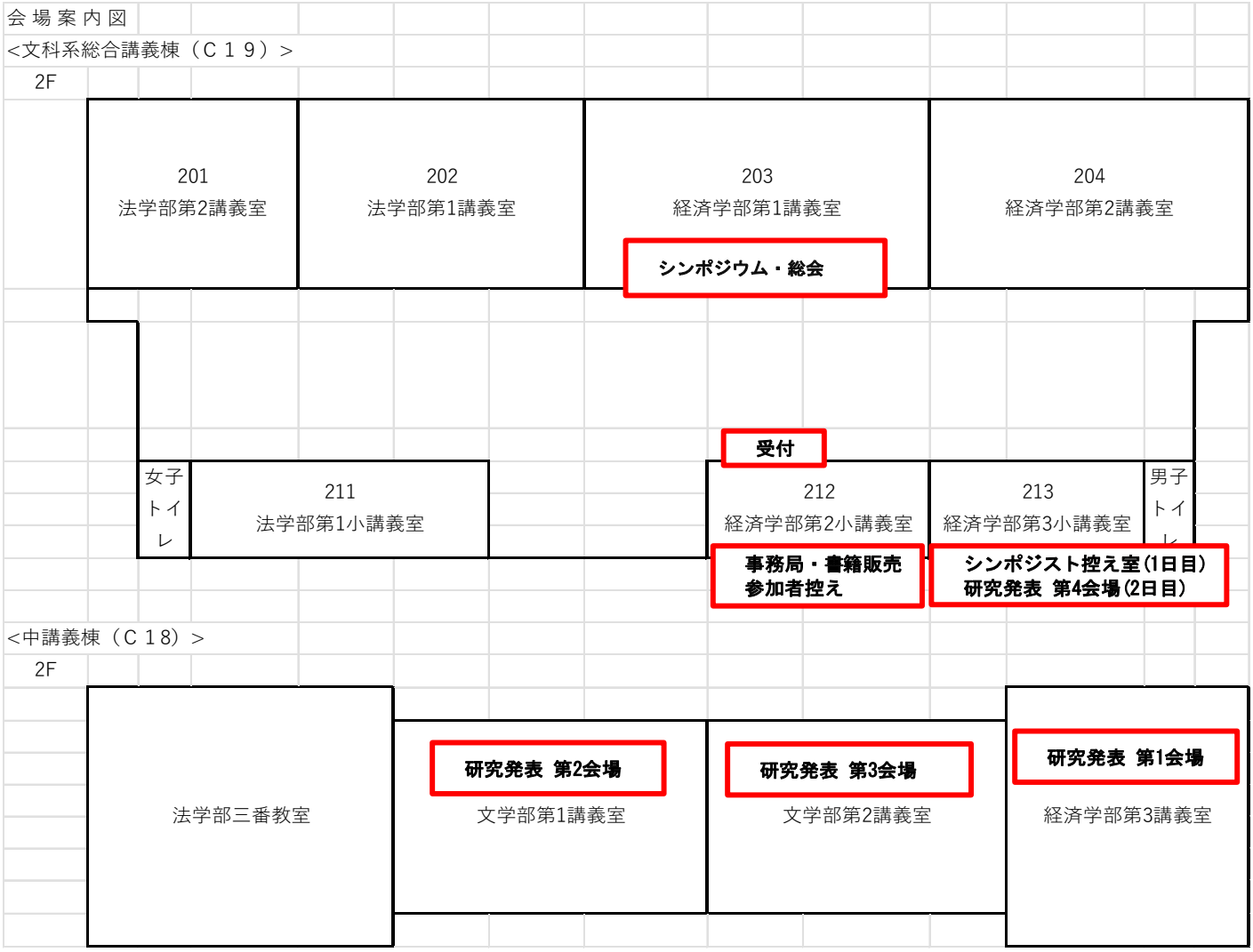
＊大学構内は全面禁煙となっております。

＊11 月 14 日(土)、15 日(日)ともレストラン・カフェ、物販店舗は休みです。周辺にコンビニ等もないため、昼食は各自ご用意ください。

＊原則として既納の費用は返却できません。

＊緊急の災害や獣害等により、万が一会場が使用不可能になった場合には、会員メールアドレス宛に早急に連絡するとともに、ホームページでもその旨をお伝えしますので、あらかじめご了承ください。

《会場案内図》



第２日（11月15日（日））

研究発表ならびにパネルセッション（9：10〜17：25）

第一会場（中講義棟・経済学部第3講義室）

番号	時間	題目	報告者	司会者
1	9:10-9:50	宮本常一『忘れられた日本人』における記憶の場の生成―生活者の主体化と包摂による忘却―	熊田 振宇 （東北大学・院）	渡 勇輝 （佛教大学）
2	9:55-10:35	柳宗悦の「中世志向」―ゴシック理解をめぐって	徐 傑華 （東北大学・院）	渡 勇輝 （佛教大学）
3	10:40-12:10	声と音の近世思想史――ことば・自然・礼楽をめぐって	増田 友哉 （中央大学・PD） 佐々木 隼相 （東北大学） 中川 優子 （東京学芸大学・PD）	増田 友哉 （中央大学・PD） --- **<コメンテーター>** 大川 真 （中央大学）
	12:10-13:10	昼食		
4	13:10-14:40	国体論研究の新地平に向けて―近世思想、異民族、文学―	齋藤 公太 （北九州市立大学） 松川 雅信 （神戸市外国語大学） 木村 悠之介 （東北大学） 嶋津 麻穂 （立命館大学・院）	西田 彰一 （東北大学）
5	14:50-16:20	憲法十七条の思想史―中世から近代へ	佐藤 雄基 （立教大学） 相良 海香子 （國學院大學） 山口 陽子 （東北大学）	Orion Klautau （東北大学） --- **<コメンテーター>** 石井 公成 （駒澤大学）

第二会場（中講義棟・文学部第1講義室）

番号	時間	題目	報告者	司会者
6	9:15-9:55	革命家・太田竜が語る日本古代史：1970年代における歴史叙述の一側面	黒木 小菜津 （東北大学・院）	齋藤 公太 （北九州市立大学）
7	10:00-10:40	古代日本の天地開闢と神観念	村上 麻佑子 （奈良女子大学）	齋藤 公太 （北九州市立大学）
8	10:45-11:25	僧尼令衣服規定（いわゆる聴著木蘭条）にみる複数論理の重層	佐藤 文子 （京都先端科学大学）	和田 有希子 （早稲田大学古典籍研究所）
9	11:30-12:10	平安時代の仮名文学にみる寺社詣	長田 明日華 （奈良女子大学）	和田 有希子 （早稲田大学古典籍研究所）
	12:10-13:00	昼食		
10	13:00-13:40	古義堂関係の偽書と古義堂の神道観―偽作『天命不同論』および伊藤東涯「会津へ返答」を中心に―	杜 絡嘉 （関西大学東西学術研究所）	浅井 雅 （四日市大学）
11	13:45-14:25	近世琉球における清朝道徳教化テキストの受容と展開―『聖諭広訓大意』を中心に	殷 暁星 （広島大学）	浅井 雅 （四日市大学）
12	14:30-15:10	大坂懐徳堂における天文学―中井竹山・中井履軒から山片蟠桃への転回を中心に―	西脇 遥香 （大阪大学・院）	大川 真 （中央大学）
13	15:15-15:55	大塚退野における「仁」の工夫論的構築	石 咏絮 （東北大学・院）	大川 真 （中央大学）
14	16:00-16:40	安藤昌益における身体の「無限」	尹 馨憶 （東北大学・院）	高橋 恭寛 （多摩大学）
15	16:45-17:25	垂加神道における「神」観念と天皇―玉木正英を中心に	賀 文豪 （東北大学・院）	高橋 恭寛 （多摩大学）

第三会場（中講義棟・文学部第2講義室）

番号	時間	題目	報告者	司会者
16	10:00-10:40	千社札の近代的再編ー『江戸趣味』と趣味人の形成	マクドゥエル 久美子 （オレゴン大学図書館）	木場 貴俊 （京都先端科学大学）
17	10:45-11:25	平田篤胤の「軍学」思想	石橋 賢太 （中央大学非常勤講師）	桐原 健真 （金城学院大学）
18	11:30-12:10	都賀庭鐘『八百比丘尼』における長生の物語ー徐福説話の叙事的機能を中心に	雷 松樺 （岡山大学・院）	桐原 健真 （金城学院大学）
	12:10-13:00	昼食		
19	13:00-13:40	福沢諭吉の「君子論」ー『学問のすゝめ』と『文明論之概略』を中心にー	高 程東 （京都大学・院）	見城 悌治 （千葉大学）
20	13:45-14:25	宮崎民蔵の「社会改革」構想ー土地均享論における「享有権利」と「所有権利」をめぐって	鈴木 つむぎ （熊本大学・院）	見城 悌治 （千葉大学）
21	14:30-15:10	明治初年における「義気」と「愛国」：中村正直と中江兆民を中心に	藤川 剛司 （東京大学・院）	河野 有理 （法政大学）
22	15:15-15:55	津田真道の政治思想－王道と覇道、復古と維新を調和した理論像－	李 心羽 （総合研究大学院大学・院）	河野 有理 （法政大学）
23	16:00-16:40	闘技としての非戦論ー日露戦争期の内村鑑三における対立者の配置	ユ ソン （東北大学・院）	今高 義也 （元 宮城学院中学校高等学校）
24	16:45-17:25	西村茂樹の「平均」社会論と「排娼論」	張 倩鈺 （東北大学・院）	今高 義也 （元 宮城学院中学校高等学校）

第四会場（文科系総合講義棟・経済学部第3小講義室）

番号	時間	題目	報告者	司会者
25	9:15-9:55	近代日本における「居士禅」の草創ーー釈宗活の両忘会を中心に	李 詩晴 （東北大学・院）	西田 彰一 （東北大学）
26	10:00-10:40	「精神主義」の周縁ー柏原祐義と真宗大谷派の近代	山本 蛍太 （東北大学・院）	西田 彰一 （東北大学）
27	10:45-11:25	近代池坊の自他認識と聖徳太子ーー『華道家元池坊由来記』をめぐって	星 優也 （立命館大学）	木村 悠之介 （東北大学）
28	11:30-12:10	農民運動のアジア的回路ー稲村隆一の理論を手がかりにー	辜 傲然 （名古屋大学・院）	木村 悠之介 （東北大学）
	12:10-13:00	昼食		
29	13:00-13:40	沢柳政太郎の心理学講義における「宗教の情」ージョン・デューイ『Psychology』の受容を手がかりにー	呉 詩揚 （岡山大学・院）	岡安 儀之 （東北大学）
30	13:45-14:25	「智力」と「感情」ー有賀長雄・安倍能成の「文明」論ー	チェ ミンヒョク （東京大学大学院法学政治学研究科附属法・政治デザインセンター特任研究員）	岡安 儀之 （東北大学）
31	14:30-15:10	日本文化論からの防災研究という視点ー廣井脩の学問知の形成と展開ー	平石 知久 （阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター主任研究員）	宇野田 尚哉 （大阪大学）
32	15:15-15:55	国語国字問題から考える近代日本ー「書く」ことをめぐってー	汲田 美砂 （奈良女子大学・院）	長 志珠絵 （神戸大学）
33	16:00-16:40	ウヂカバネと裁判制度ー萩野由之と大場茂馬を中心に	河合 一樹 （三重大学）	長 志珠絵 （神戸大学）